

短 報

富山市呉羽丘陵におけるヒサゴクサキリと
マツムシの記録

富沢 章

923-0911 石川県小松市大川町3-71

**Records of *Palaeoagraecia lutea*
(Matsumura et Shiraki) and *Xenogryllus*
marmoratus (de Haan) from Mt. Kureha-yama
in Toyama City, Toyama Prefecture**

Akira Tomisawa

3-71 Ohkawa-machi,

Komatsu-shi, Ishikawa-ken, 923-0911 Japan

筆者は2010年6月から8月にかけて富山市が呉羽丘陵において実施した自然環境調査に際して昆虫類の調査を行う機会を得、バッタ目において注目すべき種の生息を確認したのでここに報告する。

1 ヒサゴクサキリ *Palaeoagraecia lutea* (Matsumura et Shiraki)

1 ♀ (図1、図2)、富山県富山市呉羽町呉羽丘陵(標高約60m)

2010年8月26日 富沢章 採集 (富山市科学博物館 保管)

採集地点は呉羽山の東南斜面上部で、県道44号線から最短距離で200m離れた所である。伐採された斜面上部のモウソウチクを含む灌木域をスウィーピングしたところ得られた。

本種は千葉県以南の太平洋側および岐阜県以西の内陸部、四国、九州から知られているが、「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」(市川ほか、2006)、「京都府自然環境目録」(京都府企画環境部環境企画課、2002)によれば、日本海側からの記録は山口県および京都府のみのものである。本種の大きな特徴として、メスの産卵管が長くて幅広になること(図1)や、顔面に緑色の斑紋があること(図2)が挙げられる。本種はタケ類の若芽を食べることが知られていて、今回の採集地付近にもモウソウチクが生育していることから定着しているものと思われる。

今回の記録は北陸地方から初めての記録であり、分

布の北限を大きく更新するものであることから、生物地理学的に重要な記録になるものと思われる。今後の日本海側の生息調査が望まれる。

なお、本種は「日本のレッドデータ検索システム」によれば、千葉県レッドデータブックでは重要保護動物に、京都府レッドデータブックでは要注目種に、三重県レッドデータブックでは情報不足に選定されていることから、地域によっては局地的分布を示すことがうかがえる。

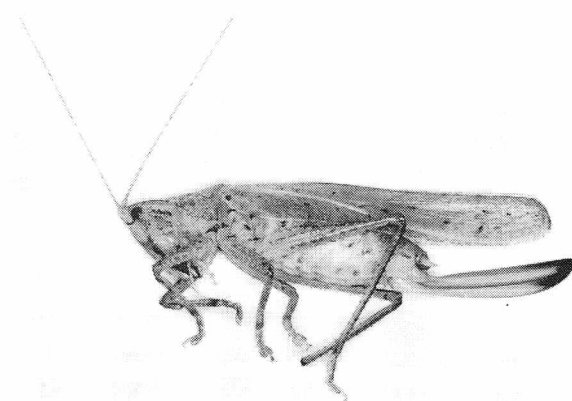


図1 ヒサゴクサキリ (薬殺直後に撮影)

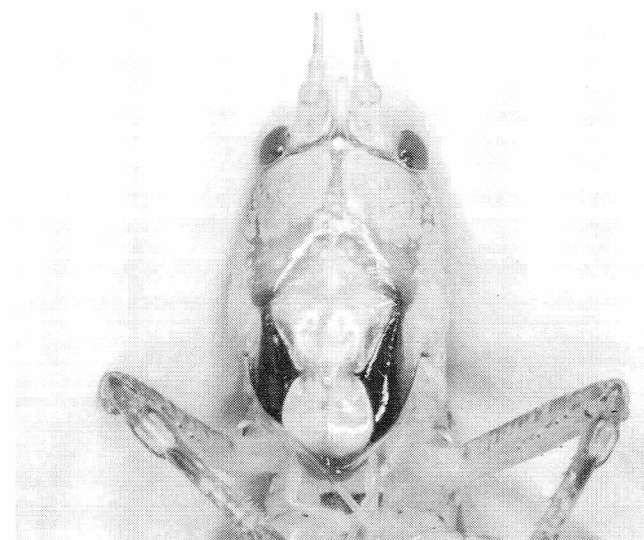


図2 ヒサゴクサキリの顔面

2 マツムシ *Xenogryllus marmoratus* (de Haan)

1 ♂、富山県富山市呉羽町呉羽丘陵(標高約25m)

2010年8月26日 富沢章 採集 (富山市科学博物館 保管)

本種は新潟県を北限とし、関東以南のほぼ全域に分布している(市川ほか、2006)。筆者の在住する石川県では、海岸草地、河川敷を中心に低山地の林縁や幹線道路の法面草地などで生息地が多い。しかし、富山

県においてはかなり以前に記録があるのみで（根来・瀬川、1988・1990）、近年の確実な記録はないようである。

今回の個体は林縁に沿った草地において、スウィーピングで得られたものであり、採集地点は呉羽丘陵の城山の北東端に位置し、県道44号線からほど近い所である。

今後、夜間において本種の特徴的な鳴き声を頼りに調査すれば富山県内の平野部においても見つかる可能性があるものと思われる。

謝辞

本報文を報告するあたり、採集記録の公表を快諾していただいた富山市公園緑地課、調査の実施主体である日本海環境サービス株式会社ならびに本誌への発表

を勧めてくださった富山市科学博物館館長、根来 尚博士にお礼申し上げる。

文 献

- 市川顕彦他. 2006. 「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」(日本直翅学会編). 687pp.
- 京都府企画環境部環境企画課. 2002. 「京都府自然環境目録」374pp.
- 根来 尚、瀬川哲夫. 1988、1990. 富山県の直翅類(I)、同(II). 富山市科学文化センター研究報告,12:37-95、同,13:65-94.
- NPO 法人野生動物調査協会・Envision 環境保全事務所. 2007. 日本のレッドデータ検索システム. (<http://www.jpnrdb.com/index.html>)